

どこにもない語りと舞いで綴る一人舞台

## 松本亜梨Ⅱ出雲草の「語り舞」

「源氏物語」に登場する女人達に光を当て  
光源氏に愛された女人の心の内を探ります。

千年の時を経ても変わらない愛の形、

日本語の美しさと日本人ならではの所作を

皆さまの心にお届けできましたら…

松本亜梨・出雲草



松本亜梨プロフィール

中京テレビアナウンサー八年半のちフリ  
ーとなり、TV・ラジオ番組やナレーション、  
司会など活動の幅を広げる。現在はZ  
IP1FMアナウンサーもしている。

その一方で、文化庁芸術祭大賞や芸術選  
奨文部大臣賞などの実力を持つ地唄舞の名  
手・出雲蓉に師事。名取名「出雲草」。

『語り舞』は、アナウンサーとして身に  
つけている語りに、舞の要素を取り入れた  
オリジナル表現で、これまでに源氏女人抄  
シリーズ「朧月夜」「明石の君」「末摘花」  
「葵上」「夕顔」の作品を、名古屋をはじめ  
各地で上演。

## 語り舞 源氏女人抄 「朧月夜」

台本・演出 岡本一彦

振付 出雲 蓉

光源氏は、父帝の寵愛する藤壺の中宮と一夜を共にするが、罪の意識に責めさいなまれ  
た中宮は、その後、光源氏を避けるようになる。一層恋心を募らせた光源氏は、南殿の桜  
の宴の夜、中宮を探し求めてさまよい歩くが、美しい声で歌を口ずさむ若き姫君朧月夜と  
出会いわからない仲に…東宮の妃として入内が決まっていた朧月夜の君との許されぬ恋。

源氏物語の「花宴」「葵」「賢木」を通して、一筋の糸となる女人の哀歎を描き出す…